

Urausu

浦 白

北海道浦臼町勢要覧
Urausu Town Basic Information

URAUSU TOWN

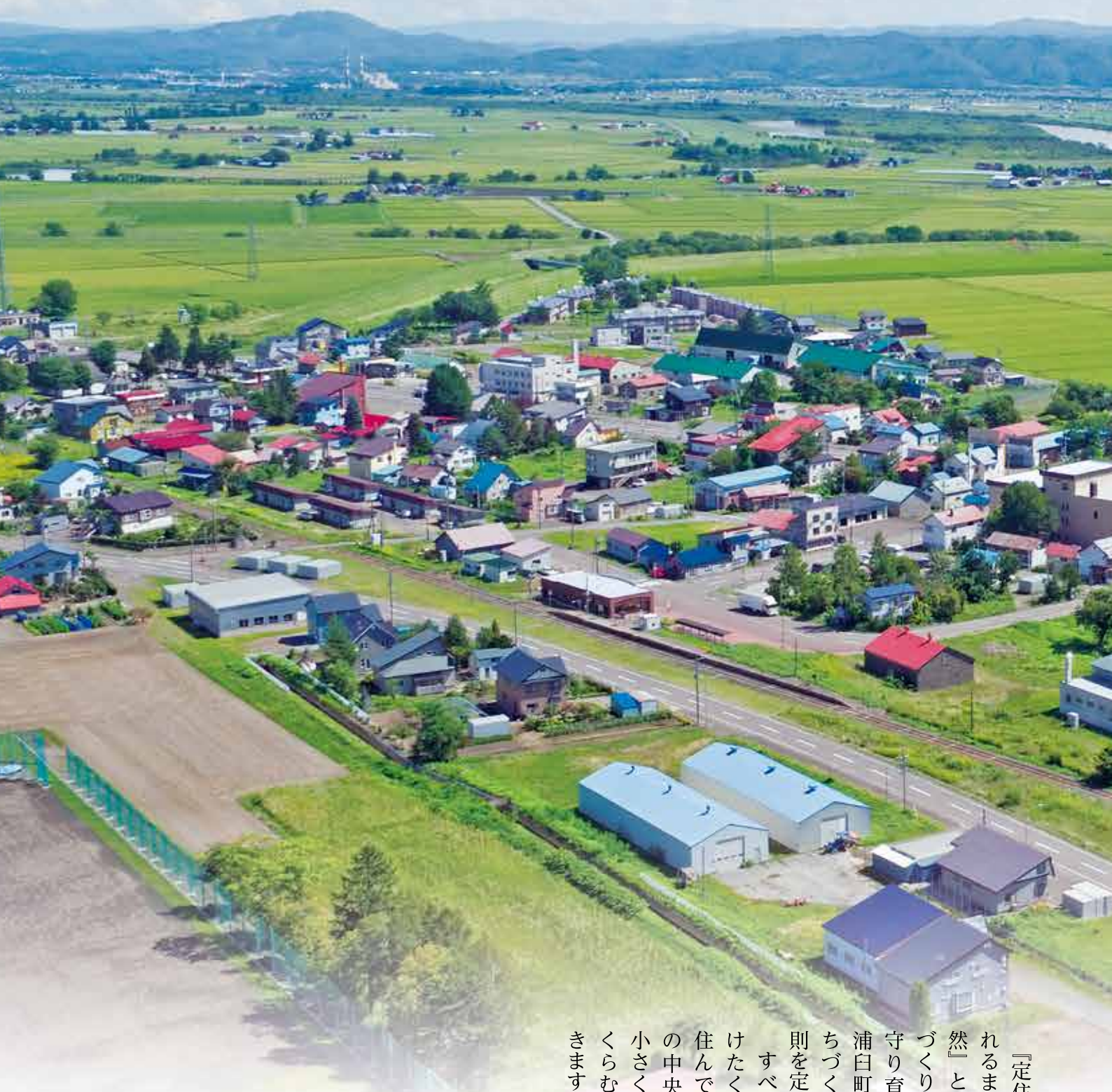
人と農と自然が結び合う 空知の夢大地

のどかな田園風景が広がるまち浦臼町。北海道の中西部、空知管内のほぼ中央にあり、札幌と旭川の中間に位置しています。

地勢は概ね平坦で、いくつもの川や沼が点在し、地味肥沃で気候は内陸性の高温適雨であり大変農耕に適した広大な大地の恩恵を享受し、水稲を中心とした農業を基幹産業として発展を遂げてきました。

西部に樺戸連山の一部を形成する緑豊かな隈根尻山を有するとともに、東部には北海道最大の一級河川・石狩川が流れ、その流域から中央部にかけては数多くの河川や湖沼とともに美しくのどかな田園空間が一面に広がり、緑の大地とうるおいのある水辺、広大な田園に包まれた、豊かな自然が息づいています。

HOKKAIDO



『定住の地』として選ばれるまちづくり、『農と自然』とともに生きるまちづくり、『人と人の絆』を守り育てるまちづくり。浦臼町ではこのようなまちづくりの3つの基本原則を定めています。すべての町民が住み続けたくなる、訪れた人が住んでみたくなる、空知の中央にキラリと光る、小さくても夢と希望がふくらむまちを目指していきます。

浦臼町概要

人口	(令和4年1月1日現在)	1,692人
世帯	(令和4年1月1日現在)	818世帯
面積		101.83km ²

農業



石狩川沿いから樺戸連山にかけて比較的穏やかな丘陵地帯に開けており、先人たちが開墾した肥沃で広大な農地を活用し、稲作を主体とした農業のまちとして発展してきました。農業の経営形態は、水稲の生産に転作田を活用した麦・大豆・そば等の畑作、メロン・ミニトマト・花き等の施設園芸、または、肉用牛の生産等を組み合わせた複合経営が中心となっています。

内陸性気候を利用して昭和48年に栽培が始まった加工用(ワイン用)ぶどうづくりは、現在では栽培面積が日本一を誇っています。

豊かな自然と空気、清らかな水、やさしい太陽という、素晴らしい自然環境を味方に、多種多様な作物を栽培しており、なかでも北国では栽培が難しい南国フルーツのマンゴーやドラゴンフルーツなどの栽培も行われています。



うらうすの逸品
めしあがれ



特産品

豊かな大地で育まれた
浦臼の逸品の数々。

手にするとそこから、のどかな田園風景が胸の中に広がるようなそんな素朴な味わい。

道内有数の米どころとして知られる浦臼には、メロン（赤・青）やスイカ、ミニトマトなどの農産物はもちろん、本格派ワインや南国フルーツマンゴーなど、とっておきの味覚がたくさんあり、浦臼ならではの新鮮で健康的な美味しさがあふれています。



広大な大地が生んだうらうすの味覚

祭り

8月

～町の味覚を楽しむ～
夏の味覚まつり

浦臼町自慢の味覚が楽しめるイベントです。ヘルシーな赤毛和牛の焼肉や、味覚まつりでしか食べることができない浦臼産黒毛和牛を味わうことができます。豪華景品が当たる抽選会やバンドによるライブも開催されます。



8月

～日本一の広さを誇るブドウ畑～
鶴沼ワインフェス

作付面積日本一を誇る広大なブドウ畑に囲まれながら、いろいろな種類のワインを楽しむことができ、ワインに合う料理も出店されます。



9月

～幻のそば ぼたんそば～
新そば収穫祭in浦臼

浦臼産ぼたんそばの粉を使った打ちたてのそばを、道内各地の同好会・愛好会がそれぞれ特色のある味に仕上げたそばを味わうことができ、そば名人による手打ちの実演、そばの早食い大会やわんこそば大会も見どころとなっています。

「ぼたんそば」とは

背が高く倒れやすく栽培が難しいため収量が少ないが、他品種に比べて味や香りが優れているという特徴があり、「幻のそば」として根強い人気があります。



福祉・教育



男性のための健康教室



乳幼児健診



貯筋教室

福祉
だれもが元気に

だれもが元気になる健康・福祉のまちを目指して共に支えあう町づくりに積極的に取り組んでいます。高齢社会が進む中、地域のふれあいや支えあいを通じて高齢者や障害者ややさしい環境の整備に努め、町に住む全ての人々が生きがいを持ち、健康で元気に暮らせるよう支援していきます。母子の健全育成のため、相談体制の充実など、各関連機関との連携を深めながら、総合的なサービスを提供しています。



認定こども園・子育て支援センター「なかよし」



保健センター

教育
明日を担う人を育む

急激な少子化や、核家族化などによる人間関係の希薄化が進む中で、社会の情報化やライフスタイルなど社会の大きな変化に伴い、時代に即した教育環境づくりの重要性は高まっています。より一層教育振興を図り、浦臼の将来に確かな力、財産となる、「心優しい人づくり」に努め、一人ひとりが生きがいを持ち「笑顔で活き生き学ぶ」教育の推進をしていきます。子供たちの健やかな感性を育む学校教育、幅広い年齢層の人々の笑顔が生き生きと輝く社会教育と、充実した暮らしを応援しています。



うらうすタウンマップ



隈根尻山
(標高971.4m)

浦臼山
(標高718.2m)

禪戸山
(標高903.2m)

鳥越山
(標高608.5m)



道の駅「つるめま」



温泉保養センター



B&G海洋センター



鶴沼公園



郷土史料館



ふるさと運動公園
(野球場)

坂本龍馬ゆかりの地

～龍馬の心が息づく街～

坂本龍馬の見果てぬ夢・北海道開拓。それを引き継いだとされる甥の坂本直寛。その坂本直寛が明治29年、「北海道に自主独立の地」を作りたいと来道し、明治31年に石狩原野に近い浦臼の地に一家を挙げて移住。一時、浦臼沼の北側に住んでいました。明治32年には、龍馬の養嗣子・坂本直の妻・留と次男・直衛が直寛を頼って高知から浦臼に移住しました。また、高知から若者を率いて入植した武市安哉は、清流が多く地味豊かなこの地に、信仰と教育による新しい理想農村の建設を目指して浦臼に武市農場（聖園農場）を開くなど、浦臼町は、まさに龍馬を生んだ土佐の志士たちの一大入植地でした。

浦臼町郷土史料館には、龍馬直筆の書簡など貴重な品々が所蔵されています。



坂本龍馬直筆書簡

【友好交流町】高知県本山町

浦臼町と高知県本山町は、明治時代、開拓移住入植者の多数が本山町出身であったことを縁に、平成8年から両町の交流が盛んに行われています。



本山町は、高知県のほぼ中央部に位置し、町の面積の91%が森林。産業は第1次産業が主力で、林業、米、園芸、畜産、特用林産物などを組み合わせた複合経営が行われています。町の中心には「吉野川」が流れ、上流部には「四国の水瓶」と言われる早明浦ダムが存在する、水と緑に恵まれた町です。



高知県

第4次浦臼町総合振興計画「うらうすチャレンジプラン」序論・基本構想

生かすべき特性・資源

- ① 樺戸連山と石狩川、一面に広がる田園空間に包まれた豊かな自然
- ② 米、ワイン用ブドウ、メロン、スイカをはじめ、多品種の農産物を生み出す農業
- ③ 札幌と旭川の間位置し、北海道縦貫自動車道に近い立地条件
- ④ 坂本龍馬の甥である坂本直寛とその一族が入植した独特の歴史
- ⑤ 鶴沼公園をはじめ、自然を楽しみ、心と体を癒せる、魅力ある観光資源
- ⑥ 郷土愛にあふれ、人情味豊かで地域連帯感の強い町民性

対応すべき時代潮流

- ① 少子高齢・人口減少の時代
- ② 安全・安心の時代
- ③ 環境・エネルギーの時代
- ④ 地域産業再構築の時代
- ⑤ 高度情報化の時代
- ⑥ 質的価値重視の時代
- ⑦ コミュニティ再生の時代
- ⑧ 地方分権・地方創生の時代

踏まえるべき町民の意識と期待

町への愛着度と今後の定住意向

“愛着を感じている”	67.6%
“住みたい”	55.9%

今後のまちづくりの特色

- 第1位 田園空間のまち
- 第2位 健康・福祉のまち
- 第3位 子育て・教育のまち

町の各環境に関する満足度・不満足度と重要度

[満足度]	[不満足]	[重要度]
第1位 上水道の整備状況	第1位 商業振興の状況	第1位 雪対策の状況
第2位 ごみ処理・リサイクル等の状況	第2位 雇用対策の状況	第2位 消防・救急体制
第3位 雪対策の状況	第3位 路線バスの状況	第3位 医療体制

新たなまちづくりへの主要課題

- ① まちづくりの中心である農業の振興を柱とした、持続可能な浦臼産業の育成
- ② 急速に進む少子高齢化に対応した、保健・医療・福祉体制、子育て支援体制の一層の充実
- ③ 次代を担う子どもたちの育成と町全体の活性化に向けた、教育・文化環境の充実
- ④ 環境保全と安全性を重視した、住み続けたい、住んでみたい生活環境づくり
- ⑤ 人々の定住・移住、交流を促進する、便利で安全な生活基盤づくり
- ⑥ 町民と行政との協働のまちづくり、行財政改革の推進

まちづくりの基本原則

1

『定住の地』として
選ばれるまちづくり

2

『農と自然』とともに
生きるまちづくり

3

『人と人の絆』を守り
育てるまちづくり

将来像

人と農と自然が結び合う 空知の夢大地・浦臼町

— 住み続けたい、住んでみたいまちへの挑戦 —

[人口目標：1,800人]

計画の体系（基本目標と施策分野）

豊かで 活気に満ちた 産業のまち

- ① 農業
- ② 林業
- ③ 商工業・雇用対策
- ④ 観光
- ⑤ 消費者対策

だれもが 元気になる 健康・福祉のまち

- ① 子育て支援
- ② 高齢者福祉・介護
- ③ 障がい者福祉
- ④ 地域福祉
- ⑤ 保健 ⑥ 医療
- ⑦ 社会保障

明日を担う 人を育む 教育・文化のまち

- ① 学校教育
- ② 社会教育
- ③ 文化芸術・文化財
- ④ スポーツ
- ⑤ 地域間交流

美しく 安全・安心な 生活環境のまち

- ① 環境保全
- ② ごみ・し尿処理
- ③ 上・下水道
- ④ 墓地・火葬場
- ⑤ 消防・救急・防災
- ⑥ 防犯・交通安全

定住と交流を 支える生活基盤 が整ったまち

- ① 土地利用
- ② 住宅・宅地・定住
- ③ 道路
- ④ 公共交通
- ⑤ 情報化

みんなで つくる 自立したまち

- ① 男女共同参画
- ② コミュニティ
- ③ 町民参画・協働
- ④ 行財政運営

浦臼町民の誓い

(昭和44年9月1日制定)

わたしたちは、幾多の先人がきびしい風雪とあらゆる困苦に耐え、きよい理想とたくましい精神で開拓し、伸展させてきた浦臼の町民です。

けだかくそびゆる樺戸山
ゆうゆうと流れる石狩川
広々とつづく緑の沃野

わたしたちは、この恵まれた郷土の大自然の中で、正義と博愛と希望をもって更に新しい産業・文化に大きな未来を秘めて、前進するため、次の誓いを定めます。

- 一章 他をかえりみ、人に迷惑をかけない明るいまちをつくりましょう。
- 二章 仕事に誇りをもち、力を合わせて豊かなまちをつくりましょう。
- 三章 きまりを守り、みんなで助けあい住みよいまちをつくりましょう。
- 四章 心とからだをきたえ、知性と若さにあふれたまちをつくりましょう。
- 五章 創意と工夫を生かし、かおり高い文化のまちをつくりましょう。



■アクセス

車

札幌市から約80分
旭川市から約90分
千歳空港から約120分



町の花 (ツツジ)



町の木 (サクラ)



浦臼町観光大使

白子ねえさん

とくちょう

浦臼産ワインやアクセサリー、噂話が大好きで、夜な夜な友人とワインを飲みながら噂話をしている。

ひとこと

ん〜♪白子よ〜♥魅力たっぷりの浦臼町にぜひいらしてね♪



■発行元■
北海道浦臼町総務課
■企画・印刷■
株式会社テラックス